



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 情報宣伝部
2024年10月31日 No.805

我慢の限界！

2024年末手当 Part④

「ボーナスが欲しい！」ではなく「出すべきだ！」と怒りの声！

- ・あらゆる物が値上がりしている今、節約しながら生活しているが子供の教育費は節約できない。これまで「安全・安定輸送」に頑張ってきた社員に年末手当で報いるべきだ！（東北）
- ・子どもが生まれて夏のボーナスをあてにしていたが2.7ヶ月では足りません！社員の生活は厳しい！（関東）
- ・家を建てたばかりで住宅ローンの金利上昇も気になっている。これから「第2四半期決算」が出るが、業績良好の時こそボーナスを上げるべき。（上信越）
- ・今まで以上に物価上昇に賃金が追いついてない気がする。これだけ社員に色々なことをやらせているのだから、年末手当が夏季手当みたいに低いのはあり得ない！（関東）
- ・定期預金を崩しながら、なんとか生活している。ボーナスをもっと出すべき！（上信越）
- ・趣味であちこち遠征するが、家の購入も考えており、今のままだと将来が不安だ（上信越）
- ・管理者は会社の業績について「第2四半期も目標を超えた」と言っていた。住宅ローンの金利も上がることが決定したため正直苦しい。毎月のマイナス分をボーナスで補填しているから冬のボーナスは多く必要！（関東）
- ・ボーナスも家賃や保険代などの支払いでなくなってしまう。豊かな生活までとはいかずとも、現状の生活を維持する最低の収入がないと日々の生活が不安であり、仕事にも影響が出てしまう。年末手当は多く出すべきだと思う。（関東）
- ・金利が上がって毎月のローン支払いが増えた。変動金利だから仕方がないが、車も古くなって買わなくてはならないので正直厳しい。ボーナスを多く出すべきだ！（上信越）
- ・物価高が止まらない。補填できるくらいの冬のボーナスが必要。一人ひとりの業務量も増えており、社員に還元してもらわないとやっていられません！（上信越）
- ・制服交換などにお金を使うなら、もっと社員の給料やボーナスを上げるべき！物価も上がりお金は出ていく一方だ。この冬は去年を大幅に越えてもらわないと生活できない！（関東）
- ・豪雨災害により鉄道が不通になっている。仕事量が減っている中、物価も上がっており、生活が苦しくなる一方だ。社員に希望を持たせるためにも、会社は東日本ユニオンの要求に応えるべきだ！（東北）

11月1日「年末手当 第1回団体交渉」開催！
3.8ヶ月要求満額を勝ちとろう！